

中学1年生 地理 年間指導計画表

教科目(単位数)	地理(2単位)
年間目標	世界の自然環境および生活・文化、産業の地域的特色について理解させるとともに、その調査のための基礎的な技能を身につけさせる。
使用教科書	帝国書院 『中学生の地理—世界のすがたと日本の国土—』、『中学社会科地図』
使用補助教材	東京法令出版株式会社(とうほう) 『中学 白地図(世界)』 育伸社 『iワーク地理 I』(帝国書院版) 新学社『学習の達成 帝国書院版 世界』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	第一部 第一章:世界の姿 (第二部 第一章:日本の姿)	・六大陸と三大洋、六大州／世界の主な国 ・緯度と経度 (・世界の中での日本の位置) (・時差でとらえる日本の位置) ・地球儀と世界地図の違い ・世界の略地図	・世界の大陸・大洋・州および日本をはじめとする国々の位置や簡単な特色を把握させる。 ・地図帳の利用方法を身につけさせる。 ・緯度・経度を使い、目標を探することができるようにし、また時差の計算ができるようにする。 ・地球儀と世界地図の長短を理解させる。
	後 半	第二章:世界各地の人々の生活と環境	・暑い地域と寒い地域の生活 ・乾燥した地域や高地での生活 ・世界の住居・衣服・食文化とその変化 ・世界の宗教と生活との関わり	・自然環境が生活・文化に与える影響を、具体例を示しながら理解させる。 ・世界の宗教とそれに関連する人々の生活の特色を理解させる。
2 学 期	前 半	第三章:世界の諸地域 1. アジア州	・アジアの範囲と文化、人口 ・アジアの農業と工業 ・身近なものからみたアジア	・アジアの地域的特色を、自然、生活・文化、人口、産業などの側面を通して理解させる。 ・アジア諸国と日本のつながりを理解させる。
	後 半	2. ヨーロッパ州	・ヨーロッパの自然環境および歴史・文化 ・ヨーロッパの産業 ・国境を自由にこえるくらし	・ヨーロッパの地域的特色を、自然、生活・文化、産業などを通して理解させる。 ・ヨーロッパの統合が生活に与えた影響を理解させる。
3 学 期	前 半	3. アフリカ州	・アフリカの自然環境および歴史・文化	・アフリカの地域的特色を、自然、生活・文化、産業などを通して理解させる。その際、植民地支配が与えた影響について注目させる。
	後 半	4. オセアニア州	・オセアニアの自然環境と産業 ・移民と多文化社会	・オセアニアの地域的特色を、自然と産業の関わりを通して理解させる。 ・オセアニアの社会の現状について理解させる
3 学 期	前 半	5. 北アメリカ州	・北アメリカの自然環境および民族 ・北アメリカの生活・文化と世界への影響 ・世界をリードする大規模な産業	・北アメリカの地域的特色を、自然、生活・文化、民族、産業などを通して理解させる。 アメリカ合衆国が世界に与える影響の大きさについて理解させる
	後 半	6. 南アメリカ州	・南アメリカの自然環境および歴史・文化 ・南アメリカの農業と工業の変化 ・ブラジルにみる環境問題と対策	・南アメリカの地域的特色を自然、生活・文化、産業を通して理解させる。また植民地支配の影響と環境問題に注目させる。

評価方法	定期試験の得点と課題提出状況や授業態度等を考慮した平常点を加味して評価する。
------	--

学習方法	①事前に教科書を読み、内容を把握して授業にのぞむこと ②板書したことなどはノートに書き留め、「書いて覚える」ようにすること。また教科書の重要と思われる部分に下線を引いておくこともよい。 ③問題演習やノートを見返すなど、反復して学習を行うこと。
------	---

注意事項	・ノートや試験の答案には丁寧な文字で記入するように指導する。 ・第二部の第一章の一部は1学期前半に、第一部の第四章は夏季休業中の課題(レポート)として取り扱う。
------	---

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	『iワーク』の問題に取り組み、学習内容の予習・復習を行なう
-------------------------------	-------------------------------